

第14回基本政策部会 議事要旨

1 日時

令和2年11月27日（金）10:00～12:00

2 場所

中央合同庁舎第4号館4階 共用第4特別会議室

3 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、松井部会長代理、青木委員、石田委員、片岡委員、工藤委員、栗原委員、柵山委員、篠原委員、白坂委員、角南委員、林委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、岡村審議官、吉田参事官、中里参事官

(3) 関係省庁

総務省国際戦略局宇宙通信政策課長	住友 貴広
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課	
宇宙利用推進室長	国分 政秀
経済産業省製造産業局宇宙産業室長	是永 基樹

4 議事要旨（○：意見等）

(1) 宇宙基本計画工程表の改訂について

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省から資料1、資料2、資料3、資料4に基づき、関連施策の報告があった後、内閣府から資料5に基づき、宇宙基本計画工程表の改訂について説明が行われた。

質疑応答において、以下の意見があった。

○宇宙交通管理については、サブオービタル飛行のルールも含めて考えていくことが必要ではないか。またどこの省庁が主体となっていくか明確化していくことが重要。

○量子暗号通信は安全保障や産業化の観点から極めて重要。国際競争をリードできるよう、スピード感を持って進めてほしい。

○光通信はデジタル化に伴うデータ量の増大に対応するために極めて重要な技術。今後、技術開発から実用までのギャップをどう埋めるかが重要。

○光通信は天候に左右されるなどの課題もあり、実用化に向けては、地上局や静止衛星との連携も含めて伝送方法等を検討することが必要。

- 各国との連携を考える上では、宇宙以外の分野も含めた連携を考えることが重要であり、異業種にも参画を拡げていく必要。
- 今後の APRSAF の発展の方向性を考えるに当たっては、APRSAF の目的・位置づけを検討し、実行に移していくことが重要。
- OSAR データなど安全保障上必要なデータの扱いなどセキュリティの観点を考えることが重要。
- Tellus を活用したデータビジネスを活性化させるためには、ユーザーの使いやすさという観点から、何が必要か見極めて改善しながら、外部リソースとの接続の在り方も含めて更なる検討が必要。
- また、衛星以外のデータも含めたプラットフォーム化の取組との連携が重要。
- 衛星開発・実証プラットフォームは、小型衛星コンステレーション等の国際競争の状況も踏まえて、とにかくスピード感を持って、取り組んでいく必要。
- 衛星の開発だけでなく、設計や製造も含めて、また、小型だけでなく大型衛星も含めて、実証から実装に向けた取組も含めて総合的に進めていくことが重要。
- 米国等に比べて、政府予算が限られる中で、民間資金活用に向けた枠組みを作っていくことが重要。
- 宇宙を他分野にしっかりアピールして、他分野の認知を拡げていくことも重要。
- 各プロジェクトの社会実装に向けて、開発段階から、ユーザー目線をより強く意識して、取り組んでいく必要。
- 工程表では比較的短期的な話が中心であるが、一方で、20～30 年先を見据えた中長期的な視点を持った宇宙政策の在り方も考えていく必要。
- 今後の宇宙分野の発展を考えるに当たっては、宇宙が主導権を持って進める分野と、デジタル化、SDGs、安全保障など非宇宙領域の動きへの適応が求められる分野の違いをしっかりと意識して取り組んでいく必要。